

# 会議結果報告書

平成28年1月26日

会議の名称	平成27年度 第2回志木市上下水道事業審議会
開催日時	平成28年1月26日(火) 13時30分～15時00分
開催場所	市役所4階 第1委員会室
出席委員	伊藤 満枝 委員、 岩下 正基 委員、 上野 剛彦 委員、 上原 実 委員、 木下 武久 委員、 島田 和夫 委員、 高山 裕子 委員、 高橋 好江 委員、 横内 晃 委員 (計 9人)
欠席委員	濱岡 慎也 委員、 (計 1人)
説明者	上下水道総務課：渋谷参事兼上下水道総務課長 水道施設課長：中森水道施設課長 下水道施設課：岡野下水道施設課長 (計 1人)
議題	1 議題 (1) 平成28年度水道事業会計予算概要(案)について (2) 平成28年度下水道事業会計予算概要(案)について (3) 水道ビジョン策定の進捗状況について (4) その他
結果	1 (1)～(3)について、事務局から審議会委員に対して、 議題について説明し、意見交換等を行った。 (傍聴 1人)
事務局	今野上下水道部長、渋谷参事兼上下水道総務課長、 中森水道施設課長、岡野下水道施設課長、 長堀上下水道総務課主幹 以上5人

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 会長あいさつ

3 事務局職員の紹介

4 議 事

（1）平成28年度水道事業会計予算（案）について

（説明員）

収益的収入及び収益的支出の概要について説明し、その後、資本的収入及び資本的支出の概要を説明する。

事業内容について、上下水道総務課の主な事業を説明し、その後、水道施設課の主な事業概要を説明する。

（委 員）

収益事業で予算額が増となっているのは、建設関係となっているのでしょうか。また、営業費用で5,800万増となっているのは。

（説明員）

建設費用につきましては、資本的支出にて予算を確保しております。

そして、営業費用の増につきましては、減価償却費が増えているのが要因となっております。

（委 員）

営業収益の3,600万の増は、2～3%の増は平年ベースの増と考えてよいのか。

（説明員）

営業収益の増は、昨年度の予算積算が、管路による漏水が発見される前の時点の作成でしたので、見込を抑えての積算となっており、漏水修理後は回復したため、今年度予算積算は、例年どおりで見込み横ばいの額となっております。

（委 員）

営業収益の給水収益は、平年ベースで作成されていると考えてよろしいので

すね。

(説明員)

そのとおりです。

(委員)

収益について、水道料金の収入と加入金の収入の割合はどうなっているのか。  
比率はどんな感じですか。

(説明員)

加入金は、およそ1億5千万円で水道料金は、およそ12億となっております。

割合につきましては、事業統計の中に資金回収率で、その数値を当てはめま  
すと、水道料金はおよそ9割となっており、100%を上回っている状態が健  
全で、志木市は残りおよそ1割分をその他の収益である加入金等に賄っている  
状況となっております

(委員)

水道・下水道の企業債の償還金で利率はどうなっていますか。

どうしてその利率になっているのですか。何でそのパーセントなのか。

(説明員)

水道につきましては、1.6%~4.65%となっており、下水道は1.4%  
~6.7%となっております。

なお、利率につきましては借入年度時の利率となっております。

4%以上の償還が少ないのは、公的資金補償金免除制度により繰上償還を行っ  
た経緯によります。

現在は繰上償還を行いますと補償金を支払わなければならないため、毎年償  
還し、経営安定の平準化に努めています。

(委員)

企業債はどのくらいですか。

(説明員)

企業債残高は、およそ28億となっております。

(委員)

一般会計からの繰入の基準はどうなっているのか。

(説明員)

水道事業は、消火栓に関してかかった費用に対しては、一般会計が負担をす  
るため、繰入を行っています。

下水道事業は、総務省により定められた基準で一般会計にて負担すべき物を

負担金として基準内繰入をし、不足分に対しては補助金として基準外繰入を行っております。

(委員)

近隣と比較して、志木市は一般会計からの繰入が少ないと思われませんがどうですか。

(説明員)

経費につきましては、雨水を公費で汚水を私費でとなっておりますので、汚水処理費については私費となり、下水道使用料で不足分を補助金として繰入を行っております。

(委員)

使用料に関して、一般会計で多く負担をしている自治体は、使用料の額が少ないみたいですが、志木市は一般会計からの負担が少ないと思われませんがいかがでしょうか。

(説明員)

各自治体がどのような地形で施設を設けているかで状況が違います。

(委員)

本日の事業概要説明でそれほど大幅な新たな事業は無いと解釈をしてよろしいのか。

(説明員)

水道事業においては、耐震化計画に沿って進めております。ただし、議会上程前ですが、目玉ではありませんがペットボトルを災害対策用で作成を予定しております。

## (2) 平成28年度下水道事業会計予算(案)について

(説明員)

収益的収入及び収益的支出の概要について説明し、その後、資本的収入及び資本的支出の概要を説明する。

事業内容について、下水道施設課の主な事業概要を説明する。

(委員)

マンホールについては、それぞれのローテーションの中で行うでよろしいでしょうか。

(説明員)

年数が経過して、摩擦力が減少している箇所について行いたいと考えています。

(委 員)

宗岡の管路の調査で4.1Kmは例年どおりですか。

(説明員)

新規事業となっており、3年間で志木市全体の調査を行う予定で考えています。

(委 員)

管路調査について、下水道事業が開始して不具合が出ているところは見受けられるのでしょうか。

(説明員)

漏水・不明水対策と、陥没に対応による補修箇所の事前段階に対する調査と考えています。

(委 員)

不明水は相当ありますか。

(説明員)

相当あります。年々雨水の量が増えているのが原因かもしれない、管路の中を調査して、それから取出し管、地上からの流入による調査と考えております。

(委 員)

不明水は、地下水、浸透水と雨水と言うことですね。

(説明員)

そのとおりです。

(委 員)

汚水が地下に浸透とかはありますか。

(説明員)

それは無いと思われます。雨水が浸透したものが、継ぎ目とかクラックからは考えられると思います。

今年も何箇所か補修をしておりますが、年々増えている状況です。

(委 員)

誤差の負担はどのくらいになりますか。

(説明員)

2割程度となります。国としても2割以内の不明水は、許容の範囲として判断してくれています。

(委 員)

大雨とか降った場合に、下水管へ雨量の限界はありますか。

(説明員)

汚水管については、雨水関係を計算には入れていません。雨水については、その当たりを考慮して満管ではなく、時間50mmを想定して管の大きさを決めています。

### (3) 水道ビジョン策定の進捗状況について

(説明員)

現在、水道ビジョンを策定中です。平成27年度は、今後の検討資料とするための水道事業の本市の現状と課題を抽出する作業を行っています。資料3がまとめたものです。

ビジョン策定にあたり、平成28年度に今後の方向性を審議会の委員の皆様にご意見を伺いながら策定していきたいと考えています。

資料3は基礎資料の一部となるので内容を説明します。

－資料3の内容説明－

次回、この資料等をふまえ委員の皆様にご意見をいただきたいと思ひます。

(委員)

ここで意見といってもこれだけのボリュームなので、次回それぞれの意見を持ってきていただきたいと思ひます。

資料を事前にもらっておいて勉強して意見を用意できたのではないかと。

(説明員)

資料は出来たばかりであり、今日は配布が目的です。

ビジョンは平成28年度に策定し、平成29年度に公表できればという考えです。

### (4) その他

(委員)

上下水道事業審議会が出来て初年度であり、まだ浄水場を見たことがない委員の方もいらっしゃると思ひますので、このあと宗岡浄水場を見学していただきたいと思ひます。現在、同敷地内に水道庁舎を建設中ですので、あわせて見学していただければと思ひます。希望者にご案内いたします。

なお、次回の会議開催は新水道庁舎になると思ひます。

(以上で上下水道事業審議会を終了。)